

実践団体情報

記入日	2021 年 12 月 19 日（2020 年度のチャレンジプラン）
実践団体名	京都府立東稜高等学校キャリアコースライフマネジメントクラス
代表者名	学校長 中嶋 知彦
プラン全体のタイトル	京都東稜のぼうさい普及活動 京都初の防災カリキュラムを設定した本校の 1 年間の防災学習を通じた取り組みとアウトプットの活動を紹介。
電話番号	075-572-2323
メールアドレス	touryou-hs@kyoto-be.ne.jp
実践団体の説明	本団体は京都初の環境・公共・防災に関するカリキュラムを導入したキャリアコースライフマネジメントクラスを 2017 年度に設置した。生徒達は週に 4 時間ある学校設定科目の時間を活用し、学習活動に取り組んでいる。
所属メンバー	担当：糟野 譲司、岸畑 祐輝穂(地歴社会) 佐々木 陽輔、山本 雄貴(理科) キャリアコースライフマネジメントクラス 2 年生 43 名 3 年生 37 名
活動地域	京都府立東稜高等学校 学校内 京都市伏見区および伏見区北醍醐学区地域 京都市伏見区の小・中学校 全国防災ジュニアリーダー育成合宿(熊本県阿蘇) 兵庫県神戸市(人と防災未来センターでの学習) 東福寺、京都府議会事務局 など
活動開始時期・結成時期	2017 年度よりキャリアコースライフマネジメントクラス発足 2020 年度は 2 期生、3 期生の生徒 80 名が活動
過去の活動履歴・受賞歴	・活動 2017 年度より 全国防災ジュニアリーダー育成合宿参加 2019 年度 京都市伏見区総合防災訓練参加 2019 年度 洛和会音羽病院総合防災訓練参加 2019 年度より 地域の小・中学校出前授業実施

① 京都府立東稜高等学校キャリアコースライフマネジメントクラス

	・受賞 2019 年度 自衛隊京都地方協力本部より感謝状
--	--

プラン全体の概要	今年度は自分たちの学習内容を自己完結にせず、学校、地域社会に向けて積極的に発信し、京都の防災教育における牽引役を目指すべく貴団体に応募し実施をすすめた。 1 年間の学習の中で、コロナ禍により地域社会に向けての活動が中止・制限されたが、生徒達は「方法は違っても発信はできる」を合言葉に様々なワークショップの企画や休校期間中に大きく進んだ I C T 化の動きに対応したオンライン学習等に積極的に取り組み活用することができた。 本団体が目指す、リーダーシップ、コミュニケーション能力、クリエーション力を高める活動にすべく、様々な課題に取り組んでいく活動を目指した。
----------	---

プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月	各連携先との調整 チャレンジプラン立案	2年：オンライン授業に向けての準備	2年：オンライン授業実施 3年：JOWILs意識調査
5月	小・中学校への出前授業の	2年：防災ポスターセッション作成準備	2年：災害ボランティア講演
6月	案内配布	3年：チームに分かれてチャレンジプランプロジェクト	2年：自衛隊特別授業
7月	自転車交通安全CM要項		2年：ポスターセッション発表
8月	京都府議会出现前議会立案		
9月	文化財保護学習立案	2年：防災ジャーナル作成	3年：c p クラス発表会
10月	読売新聞取材	3年：卒業研究開始	2年：防災ジャーナル配信
11月	全校防災ジニアリーダー準備 動画作成計画 医療機関へのガウンづくりの連携	2年：全国防災ジニアリーダー企画、環境問題レポート作成	3年：地域の小学校でのオンライン授業・北醍醐地区総合防災訓練発表・避難訓練、他団体との連携授業（i-care キッズ京都） 生徒会：医療用ガウンづくり
12月	東日本大震災語り部講演調整、京都府議会事前学習準備	3年：防災学習実践研究会オンライン会議準備	2年：ジニアリーダーオンライン会議 3年：防災学習実践研究会オンライン会議参加
1月	チャレンジプラン最終発表会教員間調整 21日キャリアの日 立案	3年：チャレンジプラン最終発表会立案	3年：卒業研究発表 2年：高校生議会、文化財保護学習・語り部講演
2月	来年度年間計画作成		2年：環境学習研究発表
3月	連携機関との打ち合わせ		
プラン全体の反省点・課題・感想		小・中学校の出前授業や2年生の神戸への校外学習が中止になる中で、ICTを活用した授業やワークショップに努めたが、今一度、教職員と生徒で活用方法を検討する必要がある。一方で、体験や実見の機会については状況を鑑みながら、徐々に従来通りの形をとりながら、防災学習を進めていきたいと考える。	

① 京都府立東稜高等学校キャリアコースライフマネジメントクラス

今後の活動予定	本校の生徒が実際に避難所運営を体験する機会を設け、公助の負担を軽減する活動を、行政とも連携しながら進めてまいりたい。 また、引き続き Classi. などを活用した防災ジャーナルの配信や生徒によるオンライン授業の作成等にもチャレンジし、小・中学校への提供などを進めていきたい。
---------	--

実践したプランの内容と成果

記入日	2021 年 12 月 19 日（2020 年度のチャレンジプラン）
実践団体名	京都府立東稜高等学校キャリアコースライフマネジメントクラス
実践番号	1
タイトル	京都東稜のぼうさい普及活動 京都初の防災カリキュラムを設定した本校の 1 年間の防災学習を通じた取り組みとアウトプットの活動を紹介。
実践担当者のお名前	糟野 譲司

実践にかかった金額	200,000円
実践の準備にかかった時間	5月から7月にかけて週4時間、計24時間程度校内発表も含めて実施
実践活動を実施した日時	2020年9月1日～2021年2月28日
実践の所要時間	10時間程度 それぞれがグループ活動をしており時間は異なります。
実践の運営側で動いた人の人数	2年生43名、3年生37名、担当教員4名
防災教育の対象者の属性	小学生（低学年）・小学生（高学年）・中学生・高校生 教職員・保護者/PTA・地域住民・高齢者・防災関係者・その他、行政関係者
防災教育の対象者の人数	約300人以上
実践を行った都道府県と市区町村	京都府 京都市・伏見区など
実践を行った具体的な場所 例：〇〇小学校体育館	京都府立東稜高等学校、京都市立北醍醐小学校 京都市立向島東中学校、京都府議会など
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	防災教育コーディネーター 諏訪 清二先生 実践団体 i-care kids 藤井 路様 自衛隊京都協力本部、京都市上下水道局など

達成目標	生徒達の自主的、自発的活動を通じたぼうさい普及活動に主眼をおいて実践を行う。様々なワークショップを企画することで、学校全体、地域社会とのつながりを構築していく。活動を通して、生徒たちのリーダーシップ、コミュニケーション能力、クリエイション力を高める活動につなげていく。
------	--

① 京都府立東稜高等学校キャリアコースライフマネジメントクラス

どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
実践内容・方法	2年生は、ICTを活用した防災ジャーナルを本校生徒・保護者・教職員に向けて配信する活動や、文化財保護に関する学習を行った。さらに京都府議会の出前高校生議会に応募し、府議会議員の先生方と防災に関する提案型の交流会を実施した。2年生は、特にインプットの活動を大切に、3年生に向けてのアウトプット活動につなげた。 3年生は、チーム別の活動実践に努めた。①小・中学校出前授業チーム②ぼうさい家族会議計画チーム③歴史防災探究チーム④自転車交通安全コンテストCM作成チーム⑤本校避難訓練計画チームに分けて実践を行い、様々な機会を通して実践活動を行った。 また、学校内でのぼうさい普及活動が実を結び、生徒会と本校のキャリアコースライフサポートクラスが協力した「医療用ガウン作り」などの企画も、マネジメントクラスの活動から拡大して進められた。	
得られた成果	・ICT化に対応したぼうさい普及活動にも積極的に取り組むことができた。特に、2年生のClassiを使った防災ジャーナルの配信や、地域の小学校とのオンラインでの出前授業など新しい可能性を見いだすことができた。 ・地域の防災訓練については、調べた内容を壁新聞の形で発信するとともに、地域の方にマネジメントクラスの活動を知ってもらうプロモーションムービーを作成し、参加はできなくても、関心をもていただく機会ができた。 ・マネジメントクラスの活動から拡大して、本校生徒会と本校の看護・保育・福祉系分野を学ぶキャリアコースライフサポートクラスとのコラボレーション企画として医療用ガウン作りが実施された。放課後、多くの生徒が参加して、学校全体の取り組みに変えることができた。	
どのくらい身につきましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに
課題・苦労・工夫	休校中に進められたICT化の動きに教職員も対応に追われた。一方で、活用することにより新たな可能性が見いだせると考え、Classiの有効活用に踏み切った。自転車交通安全コンテストCM作成においては、生徒達が工夫をした取り組みが行われ、教員が生徒から教えてもらう機会もあった。生徒達は「方法は違って発信はできる」を合言葉に取り組むことができた。今後、さらなる活用方法を見いだしたいと考える。同時に、コロナウイルスの状況を鑑みながら体験的な学習活動も必要である。その上で、安全を考慮した活動を今一度検討	

① 京都府立東稜高等学校キャリアコースライフマネジメントクラス

	していきたい。
--	---------

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	諏訪 清二 先生
関係者の説明	防災教育チャレンジプラン実行委員
関係者の連絡先	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	学校現場で防災教育を実践する教職員
伝えたい内容	学校現場においてなぜ防災教育が必要なのかについて

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	i-care kids 京都 代表理事 藤井 落 様
関係者の説明	病児保育についての説明と避難訓練の様子について
関係者の連絡先	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	防災を学ぶすべての人に対して
伝えたい内容	災害弱者への気配りや配慮、知っておくべき知識など

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	自衛隊京都地方協力本部
関係者の説明	災害支援活動について、身近なものでつくる応急手当について
関係者の連絡先	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	防災を学ぶすべての人に対して
伝えたい内容	共助の大切さ、応急手当の方法などについて

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	京都府議会 議会事務局
関係者の説明	京都府議会が主催する出前高校生議会の総括
関係者の連絡先	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	

① 京都府立東稜高等学校キャリアコースライフマネジメントクラス

伝えたい相手	防災を学ぶすべての人に対して
伝えたい内容	防災についての公助のありかたについて

★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について	
関係者の名前・団体名	京都市消防局 醍醐消防分署
関係者の説明	本校避難訓練においての連携
関係者の連絡先	
★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ	
伝えたい相手	学校関係者に対して
伝えたい内容	学校における避難訓練の課題やありかたについて